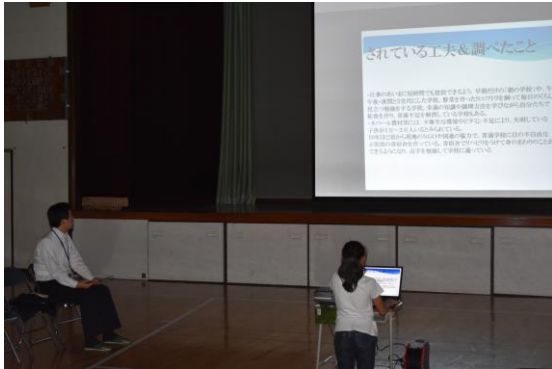


平成28年度

小・中学生フォーラム in 四谷第六小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

10月18日(火)、四谷第六小学校(大京町30、校長:児玉純)の6年生40名が、「世界の中の私たち～世界の現状と私たちにできること～」をテーマに、吉住健一区長と意見を交換しました。

上記のメインテーマのもと、3つのグループに分かれ、それぞれ「難民について」、「宗教と戦争」、「学校へ行けない子どもたち」について調べたこと、考えたこと、解決しなければならない問題等をグループの代表児童が、自作のパワーポイント資料を用いて発表しました。続けて、各グループの児童たちから区長に対して、問題解決へ向けての提言などを行いました。

区長からは、各テーマに関してこれまで新宿区が行ってきている取り組みと、各々の課題や今後の展望について、自身の体験も交えながら熱心に児童たちへ語りかけていました。

発表終了後には、6年生全員が一人ずつ今回のフォーラム開催にあたって自身が調べたことと、そのことに関して自分が今後何をしていきたいと思うかについて話しました。

最後に、区長から児童たちへ「回り道をしてかまわないので、自分のやりたいことに向けて、目標、目的を持っていろいろなことにチャレンジしてほしい」と話がありました。

児童たちが、区長との意見交換を通じて新たな視点を獲得したことで、有意義なフォーラムとなりました。

